

保育園安全だより

—事故報告より—



号外(令和5年度 最終号)

例年より早い新緑が心地よい4月、子ども達や職員にとっても新しい環境でワクワクドキドキしながら日々過ごされていることでしょう。この時期、子ども達は気持ちの高揚感から思いがけない事故や怪我につながる事が予想されますので、職員の皆様も誰かが見ているだろうと思わず互いに声を掛け合い、責任をもって子ども達の生活を見守っていきましょう。

	令和5年度 年間事故報告書集計表												
	園内									園外			計
	保育室	ホール	廊下	玄関	トイレ	テラス	園庭	プール	その他	道路	公園	その他	
0歳児	61	1	0	0	0	3	4	0	5	0	0	0	74
1歳児	210	4	2	0	0	35	39	0	5	1	5	0	301
2歳児	133	33	1	0	0	10	81	0	8	6	8	0	280
3歳児	76	19	3	2	3	7	70	0	5	1	4	1	191
4歳児	58	9	2	1	2	15	73	2	5	2	11	1	181
5歳児	64	22	0	0	0	12	80	3	6	1	6	3	197
合計	602	88	8	3	5	82	347	5	34	11	34	5	1224

【集計表より】

令和5年度に発生した事故件数は、1224件 でした。昨年度より53件の増加でした。特に、1歳児クラスの怪我の件数が大変多いことがあげられます。子どもたちの成長を捉え、保育室の環境を整えるなどの工夫が必要になります。

昨年度は世田谷区の保育施設で、あつてはならない午睡時の痛ましい事故が起きてしまいました。貴園でも「午睡時のお子様の様子の確認方法 および環境整備」について、再度、職員間で共通理解するための時間を必ず設けてください。

- ・お子様の状況確認の視点 (子どもの胸が上を向いているかどうか)
- ・保育士がどのように見ているかの視点 (午睡当番の人数、見ている位置など)
- ・午睡チェックの仕方の確認 (都度チェック表に記入をしているか、矢印の共通認識はできているか)
- ・布団使用の場合の注意点 (布団の沈み具合の確認など)
- ・マットカバー又はバスタオルが固定されているかの確認 (しわやたるみなど)

新年度にあたり以上のような視点を確認し合い、日々意識して取り組みましょう。